

2022年3月18日

各 位

上場会社名	株式会社ドリコム	
代表者	代表取締役社長	内藤 裕紀
(コード番号:	3793)	
問合せ先責任者	取締役	後藤 英紀
(TEL:	050-3101-9977)	

新たな事業（Web3 事業）の開始に関するお知らせ

当社は、2022年3月18日開催の取締役会において、新たな事業として Web3 事業に参入することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨

当社では Web3 を「トークンを介した形で実現する分散型インターネットサービス」と捉え、これからのインターネット業界に対して大きな変化を与えていると考えています。またこうした変化を大きなビジネスチャンスと捉えており、Web3 事業への参入を決定しました。

2017年より次世代の主力事業創出を目的として、ブロックチェーンおよび周辺技術の研究開発を行ってまいりましたが、2017年時点においてはサービスレイヤーと呼ばれるレイヤーでのサービス事例等も乏しく、レイヤー1、レイヤー2といったプロジェクトが中心であり、当社の事業ドメインとの距離は遠く、事業化検討までには至りませんでした。今回の Web3 事業への参入においては、2021年後半より Web3 市場において、GameFi プロジェクトや NFT プロジェクト事例が増えてきたことの影響も大きく、エンターテインメント領域と Web3 領域の重なる部分をターゲットとし、当社が取り組むべき事業領域と判断しました。

ゲームをはじめとするエンターテインメント領域は常に新たなテクノロジーとともに発展してきたと認識しており、5年、10年先をも見据えたエンターテインメント領域において、Web3 領域で生まれるテクノロジーがその発展に強く影響するものと予想しております。

当社のミッション、ビジョンの実現において、Web3 領域はこれから多くの発明が生まれていく領域であると考えており、Web3 領域でのサービス開発および発明の実現を通じて、人々の期待を超えていきたいと考えております。

2. 新たな事業の概要

2. 1 新たな事業の内容

ブロックチェーン技術等を活用し、トークンエコシステムを内包する新規サービス及びプロダクト開発を行います。本事業における最初のプロジェクトとして、Thirdverse グループとブロックチェーンゲームの制作を行うことに合意しました。今後海外向けの2作品の制作を予定しています。Thirdverse グループがパブリッシャーとなり、当社はブロックチェーンゲームの受託開発を行います。

なお Thirdverse グループとの協業については2022年3月18日付けのプレスリリース「株式会社ドリコム、Web3 事業へ参入『トークンを介した形で実現する分散型インターネットサービス』の開発を通して、新たな発明の実現と価値提供を目指す」(添付)をご参照ください。

2. 2 当該事業を担当する部門

当社の新規事業開発部門にて担当する予定です。

2. 3 当該事業の開始のために特別に支出する金額および内容
現時点において特筆すべき支出はございません。

3. 日程

- (1) 取締役会決議 2022年3月18日
- (2) 事業開始日 2022年5月1日(予定)

4. 今後の見通し

本件による当社の当期の連結業績に与える影響は軽微ではありますが、将来にわたり企業価値向上につながる事業であると考えております。今後、公表すべき事項が生じた場合は、速やかに開示いたします。

以上

株式会社ドリコム、Web3 事業へ参入
「トークンを介した形で実現する分散型インターネットサービス」
の開発を通して、新たな発明の実現と価値提供を目指す



株式会社ドリコム（本社：東京都品川区、代表取締役社長：内藤裕紀）は、本日3月18日に、Web3 事業への参入を決定したことをお知らせいたします。併せて、本事業の最初のプロジェクトとして、Thirdverse グループと GameFi（Game×Blockchain×Finance のこと。以下 GameFi）領域におけるブロックチェーンゲームの企画・開発・運営に関する基本合意契約を締結したことをお知らせいたします。

1. Web3 事業とは

当社では Web3 を「トークンを介した形で実現する分散型インターネットサービス」と捉え、これからのインターネット業界に対して大きな変化を与えると考えています。

この、「トークンを介した形で実現する分散型インターネットサービス」では、ユーザーの定義を「サービス利用者」から「サービスの協賛者」までに拡大するとともに、トークンエコシステムを含めたサービス全体がユーザーにもたらす提供価値の最大化を指向するといった点において、これまでのインターネットサービスとの大きな差分を生み出していくと考えています。

このような大きな変化をビジネスチャンスとして捉えており、「トークンを介した形で実現する分散型インターネットサービス」を開発の起点とし、事業化を目指して参ります。

2. Web3 事業への参入背景

当社では 2017 年よりブロックチェーンおよび周辺技術の研究開発を行ってまいりましたが、2017 年時点では Web3 の基盤技術であるレイヤー1※1、レイヤー2※2 といったプロジェクトが中心であり、当社の事業ドメインとの距離は遠く、事業化検討までには至りませんでした。

今回の Web3 事業への参入においては、2021 年後半より Web3 市場において、GameFi プロジェクトや NFT プロジェクト事例が増えてきたことの影響も大きく、エンターテイメ

ント領域と Web3 領域の重なる部分をターゲットとし、当社が取り組むべき事業領域と判断したことが、今回の参入背景となります。

※1：レイヤー1：独自のブロックチェーンネットワークの開発

※2：レイヤー2：スケーラビリティ課題の解決を目指す開発

3. Web3 事業への参入目的

ゲームをはじめとするエンターテインメント領域は常に新たなテクノロジーとともに発展してきたと認識しており、5 年、10 年先を見据えたエンターテインメント領域において、Web3 領域で生まれるテクノロジーがその発展に強く影響するものと予想しております。

当社のミッション「with entertainment ～人々の期待を超える～」、ビジョン「発明を産み続ける」の実現において、Web3 領域はこれから多くの発明が生まれていく領域であると考えており、Web3 領域でのサービス開発および発明の実現を通じて、人々の期待を超えていきたいと考えております。

4.基本合意契約締結について

この度、Web3 事業の最初のプロジェクトとして、Thirdverse グループと GameFi 領域におけるブロックチェーンゲームの企画・開発・運営に関する基本合意契約を締結しました。

当社はゲーム事業を主力事業とし、長年の IP ゲームの開発・運用で培ったノウハウを生かし、運用中の IP ゲームの収益拡大と新規 IP ゲームの開発を通じた事業拡大に取り組んでまいりました。また次世代の主力事業創出を目的とした新規技術領域における研究開発、およびこうした技術を用いた新規サービスの開発にも取り組んでまいりました。

また Thirdverse はグローバルで「VR×メタバース」実現を目指す VR ゲーム開発スタジオであると同時に、Oasys PTE. LTD.（本社：シンガポール、Director：松原 亮）と提携し、同社が開発するブロックチェーン「Oasys」の Validator Node の運用に参画するなど、ブロックチェーンゲーム領域においても、最先端のノウハウを保有する企業です。

こうした背景のもと、当社の培った IP ゲームの開発・運用ノウハウや、ブロックチェーン技術との連携、Thirdverse グループのブロックチェーンゲーム開発・運用ノウハウおよびマーケティングノウハウといった両社の経営資源を活用することにより、ブロックチェーンゲームの開発・運営での協業を通して、両社のさらなる事業拡大を目指してまいります。

上記の目的の実現に向けて両社は IP を用いたブロックチェーンゲームの企画・開発・運営における協業について検討及び協議を進めてまいります。

5.基本合意契約の内容

当社と Thirdverse グループは IP を用いたブロックチェーンゲームの制作を行うことに合意し、今後海外向けの 2 作品の制作を予定しています。Thirdverse グループがパブリッシャーとなり、当社はブロックチェーンゲームの受託開発を行います。

また、1 作品目のブロックチェーンゲームでは、当社保有 IP である『Wizardry』を Thirdverse グループにライセンス提供します。なお本ブロックチェーンゲームの企画においても、ゲームの基本となる「楽しむためにプレイする」といった前提を崩すことなく、その上でユーザーにとっても納得できる運用方針・ルールを定めた上での企画・開発・運営を目指します。

6.今後の日程

2022年3月18日：Thirdverseグループとの基本合意契約締結

2022年4月中：Thirdverseグループとの各種契約締結（予定）

2022年5月1日：事業開始日（予定）

2022年夏：Thirdverseグループによる『Wizardry』海外向けブロックチェーンゲーム開発発表（予定）

本合意に際してのコメント

ドリコム 代表取締役社長 内藤裕紀

gumi Cryptos Capital で OpenSea や YGG などメインプレイヤーへの出資などを行い、Web3 界隈に広い人脈を持つ國光さんと、Thirdverse グループを通じて、この領域で協業して事業を進められることを頼もしく思っています。ドリコムとしても 2017 年頃より研究開発してきたブロックチェーン領域でいよいよ本格的なサービスを展開できることにワクワクしています。

Thirdverse 代表取締役 CEO 國光宏尚

NFT、ブロックチェーンゲーム市場の加熱により、この領域で新しいイノベーションの芽が生まれつつあります。そんなタイミングだからこそ、両社の強みを活かし合って全力でグローバルに挑戦していきたいです。Web3 is Now !

■株式会社ドリコムについて

商号：株式会社ドリコム

所在地：東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower 19F

代表取締役社長：内藤裕紀

設立：2001 年 11 月 13 日

コーポレートサイト：<https://drecom.co.jp>

■株式会社 Thirdverse について

商号：株式会社 Thirdverse

所在地：東京都千代田区神田錦町 2-2-1 KANDA SQUARE 11F WeWork 内

代表取締役 CEO：國光宏尚

設立：2013 年 4 月 30 日

コーポレートサイト：<https://thirdverse.io/>

■『Wizardry』について

『Wizardry（ウィザードリィ）』は、1981 年にアメリカで発表されたコンピューター用 RPG で、パーティー編成、迷宮の探索、モンスターとの戦闘やキャラクター成長などの要素は、後の様々な RPG に多大な影響を与え、RPG の始祖のひとつとされています。今日まで数多くの系列タイトルが発売され、発売開始から 40 年近くが経つ今でも、世界中で根強い人気を誇る不朽の名作です。

当社は 2020 年に『Wizardry』シリーズのうち、『Wizardry6』、『Wizardry7』、『Wizardry8』、『Wizardry Gold』の著作権及び『Wizardry』の国内外の商標権を取得しております。

なお、既に発表済みの新規モバイルゲームタイトル『Wizardry VA (仮)』と、今回のライセンス提供を行うタイトルは別のタイトルです。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ドリコム IRPR 部

MAIL : pr@drecom.co.jp